

# 「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2016年5月15日（木）9:30～15:30

- 作業項目：1）ナラ枯れ対策  
2）枯損木伐採  
3）枝打ち  
4）登山道水切り溝整備

昨年6月、本山寺山一帯に広がりつつあるナラ枯れの対策として、カシナガ（カシノナガキクイムシ）の拡散防止のため、既にカシナガに潜入されている二十数本のナラ類の木（主としてコナラ、アカガシ）の幹に、濡れタオル及びビニールシートを巻きつけた。先日、昨年巻きつけたビニールシートを剥がして見るとカシナガの成虫の死骸が数匹みつかったので、少しは拡散防止に役立ったのかも知れない。

今年もカシナガの飛来する夏のシーズンが近づいて来たので、ナラ枯れ防止策を講じる必要がある。去年は、既にカシナガに潜入されているナラ類を対象に、産卵後の成虫拡散防止策が主体だったが、今年は幸いまだカシナガの飛来が見られないので、今からシートを巻いておけば飛来・潜入をかなり防止できそうだ。何百本かあるナラ類全部は無理としても、取り敢えず東海自然歩道沿いの比較的太い（直径20cm以上）コナラ、アカガシを対象に防止処置を施すことにする。

去年は、掻き集めた古タオル類がすぐ無くなってしまったので、今年はコネを辿って多量のBC反バスタオルを購入した。本山寺境内で水に浸して現場へ持参し、地上数十cmから150cm程度まで、幹に濡れタオルを被せその上にビニールシートを巻き付ける、という作業で、

午前、午後併せて東海自然歩道沿いのコナラ、アカガシ  
20 数本を処置した。

ナラ枯れ防止対策班とは別に、東海自然歩道整備班は、  
登山道沿いの枯損木伐採、枝打ちとともに、落ち葉や土  
砂で埋まった水切り溝の整備を行った。

今日は、日曜日とあって登山者が多く、作業内容を訊  
かれることも度々で、一々説明するのはやや煩わしいが、  
できるだけ丁寧に説明し、関心のありそうな人には会へ  
の入会申込書を渡したい。これで一人でも新入会者があ  
ればありがたいのだが・・・。

**【作業参加者】**

金井良碩 阪下幸一 斧田一陽 武田寿夫 丸山喜代司  
猪川誠 福井誠 小櫃徹夫 秦康夫 (体験参加) 小川  
晋太郎 越智勇介 計 11 名





② 登山道脇のコナラの木に濡れタオルとビニールシートを巻きつける



③ コナラ 5 本 処置 済



④ 枝先から枯れ始めているアカガシ



⑤ アカガシの枯損木除伐中



⑥ 登山道の水切り溝整備